

憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

第189号

2008年3月19日

Tel 03-3261-9007
Fax 03-3261-5453



ウオッチ改憲動向

【3-06】自民法審議会

・成人年齢の引き下げ議論を本格的に開始。「活発な議論をすることで、（野党の反対で開かれていない）両院の憲法審査会が開かれるよう促進したい」（中山太郎）

【3-11】法制審議会

・民法成年年齢部会の初会合。今年中に中間報告をまとめ、09年目処に答申予定。

【3-11】「秋に恒久法制定」

・深谷隆司・テロ特措対策部会長、米国務副長官に発言

【3-13】新世紀の安全保障体制を確立する若手議員の会

・世話人会（自民・中谷、民主・前原、公明・上田氏ら）が、4月に総会、3年ぶりに活動再開で合意

島根で憲法運動交流会

憲法会議などが9日、出雲市で「憲法と平和を守る運動交流集会」を開催、28団体、52人が参加しました。交流会では、憲法署名を住民の過半数から集めることを目指し、地域ごとに全戸署名を進める経験等が報告されました。また、武力行使恒久法制定の動き等、重大な動きに反対して大運動をすすめる事を意思統一しました。

集会にこめられた平和守れの意思

— 3・8「九条の会」講演会に2300人 —

3月8日、渋谷のC・Cレモンホール前に早々と参加者の列が出来ました。大江健三郎さん、鶴見俊輔さん、加藤周一さん、小田実夫人の玄順恵さん、そして井上ひさしさん、三木睦子さん、奥平康弘さん、澤地久枝さんが小田さんの思い出を語り、志を受け継いで9条を守る決意を表明しました。また、梅原猛さんのメッセージが紹介されました。当日の呼びかけ人会議は、「小田さんはいなくなったけれど私たちと一緒にいる」と、ポスターやリーフに小田さんの写真を残すと決めました。「春に高校生になる。話を聞き若者も頑張らなければと思った」等、360通の感想が寄せられました。

22日に憲法会議総会 新宿農協会館で

改憲勢力は、明文改憲に向けた巻き返しを強めています。特に、解釈改憲を極限まで推し進め、憲法9条を破壊する「自衛隊海外派兵・武力行使恒久法」制定への動きは重大です。こうした動きに対し、9条改悪阻止のたたかいが、平和を願う世論を土台に本格的に発展しつつあります。第43回総会は、情勢を分析し、改憲阻止の国民的多数派の形成に向け、憲法会議の役割・課題を明らかにし、たたかう方針などを決定します。とりわけ、「武力行使恒久法」制定阻止の運動を情勢にふさわしく発展させるため、総会をその重要な跳躍台とすることをめざして開催されます。